

# 龍ヶ崎市第3期子ども・子育て支援事業計画（案）

パブリックコメントによる意見募集の結果について

令和7年2月

龍ヶ崎市福祉部こども家庭課

## パブリックコメントに提出された意見とその意見に対する市の考え方

計画等の名称	龍ヶ崎市第3期子ども・子育て支援事業計画（案）		
意見提出期間	令和6年12月24日（火）～令和7年1月20日（月）		
意見提出者数	1件（個人1件）	意見件数	5件

ご提出いただきましたご意見は原則、原文のまま下記意見の概要に掲載しております。また、本計画案と直接的に関係しない部分等につきましては、関係課へ情報共有等を行っておりますので、ここでの掲載は差し控えさせていただきます。

No.	意見 No.	意見の概要	市の考え方
1	1	子育て応援日本一を目指す割に、少子化の数字も出されているのに生温い案を出してる。というのが第一印象です。旗を掲げることが恥ずかしい。	<p>本計画案の策定におきましては、14ページから39ページに記載のとおり、子育て世代へのアンケート調査の実施や保育所などの子育て関係団体のヒアリングの他、市長と子育て世代との子育て座談会の開催を行い、子育て世代のニーズ把握に努めてまいりました。本計画案は、そのニーズを踏まえて、今後、特に注力していきたい新たな施策や取組みを中心に掲載を行っているところです。</p> <p>子育て世代が本市の子育て環境に魅力を感じ、「住みたい」、「住み続けたい」と感じていただけるよう、今後も引き続き子育て世代との意見交換等を行いながら、本計画案に搭載する施策や取組みの着実な推進に努めてまいります。</p>
	2	東京都は色々削って捻出し、保育料を第一子から無料や手当も別で5000円あります。松戸は医療費一回200円、幼稚園等の別途かかる費用も負担します。龍ヶ崎市は全てないですね。たつのご預かり助成は年間3万足りません。龍ヶ崎市は来年度から駅前ステーション辞めると、何も残らないと思います。都のように秋位に打ち出すと次の年春に	<p>ご意見を踏まえ、本計画案の58ページに記載の基本施策Ⅲ 安心して産み育てることができる環境の整備と子育て支援の充実の取組みの表に以下の取組みを追加いたします。</p> <p>取組み：子育て世代の経済的負担の軽減</p>

	引越してしまうんです。家買ってようが、売ってしまえば良いのでもっと今いる人達を手厚くしないと口コミも広がりません。	<p>区 分：継</p> <p>取組みの内容：<u>子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、児童手当の支給やこどもの医療費の助成などを行うほか、家庭環境に応じた各種支援の検討を行います。</u></p> <p>担当課：<u>こども家庭課 保育課 外</u></p>
3	<p>1人からでも生みやすく育てやすい街にして行くのが大事だと思います。</p> <p>多胎児は、虐待リスクが単胎児より4倍もあるのに資金すら支援もされない。年に数組しかないのなら生活保護や、シングルマザー達よりは数は少ないので支援は可能かと思います。</p>	<p>ご意見について本市も同様に認識していることから、本計画案の41・57ページに記載の基本理念や基本施策Ⅲにおいて、その旨を掲げているところです。</p> <p>また、子育てに関する悩みや相談等は、近年、多様化しており、それらに対応していくための体制づくりが重要であることから、本市では、令和7年4月に母子保健と児童福祉の機能が一体となって、全ての妊産婦・子育て世帯・こどもへのサポートを行っていく「こども家庭センター」を設置することとしております。その設置後は、本計画案57・61ページで掲げる「こども家庭センターの運営の充実」や「相談体制の強化」の取組みを推進していくことで、子育てに関する様々な悩み等に対応していくとともに、サポートの一層の充実に努めてまいります。</p>
4	最後のページの子育てしやすい街であると感じる市民が35%を令和8年迄に65%でなくて7年から80%を目標に動かないと増えていかないと。現状維持もありえません。100%に近づけていくように増加させていかないと変わりはしません。	<p>本計画案の64ページで掲げる目標値は、最終的な目標である100%の達成に向けて、現状値を考慮しながら、段階的に設定した短期的目標であります。</p> <p>本計画案に登載する施策や取組みを着実に推進して、具現化等を図っていくことで、可能な限り早期の100%達成を目指してまいりたいと考えております。</p>
5	書類関係も市役所提出というのも昭和すぎます。せめてサプラで土日受け付けたり、出張所で受け取るべきです。そうすると働いてるママ達	本計画案の59ページでは、「小児医療オンライン相談の実施」や「産前産後支援サービスの利用申請の電子化」等、デ

		は候補にいれてくると思います。	デジタルトランスフォーメーションを活用した取組みを登載して、子育て世代の負担軽減を図り、利便性の向上を図ることとしております。今後もこのような取組みの拡大に努めてまいります。
--	--	-----------------	---